

平成23年度

事業計画書

公益財団法人立川市地域文化振興財団

財団基本方針

平成 23 年 4 月 1 日より公益財団法人として生まれ変わる当財団は、これまで以上に公益性を重視するとともに、より多くの方に鑑賞事業だけでなく様々な事業に参加をしていただき、共に文化振興を進めていくことを念頭に事業展開を図る。

新法人は、市民の文化向上及び福祉の増進を図るため、地域文化及び文化芸術の振興に関する事業を推進し、もって地域社会の発展及び健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的と定めている。

平成 23 年度の事業計画及び予算編成に当たっては、市の第 3 次基本計画やその分野別の個別計画として策定している新文化振興計画の施策や取組方針を具体的に事業化することを基本としているが、それ以上に財団ができる創意工夫やこれまでの実施事業をさらに充実させるとともに、斬新な発想を持って新しい立川文化の創造に取り組む。また、事業の実施、予算執行に関しては、より一層の効率的な運営を図ることはもとより、事業の意義や付加価値なども勘案しながら、より広く市民への文化芸術振興に努める。

重点事業

① 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

- ・市が実施しているファーレ立川アート鑑賞事業に協力し、鑑賞後の創作活動や創作品展示を付加し、より関心を深める事業とする。
- ・子どもから大人まで楽しめる分野であり、また、小学校から大学、プロの楽団までを有する当市の特色である吹奏楽を通じた文化振興と交流を進める。
- ・地域で文化芸術に触れる機会を創出するために、児童館や福祉施設も開催場所とするなど、積極的にコミュニティ・ステージを実施する。
- ・多くの方々に創作作品を見ていただく機会をつくるために、昭和記念公園でのアートギャラリー展入賞作品の展示や若手芸術家を中心としたアートイベントを通じて、市民の文化芸術活動及び若手芸術家の創作活動の支援を行う。

② 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

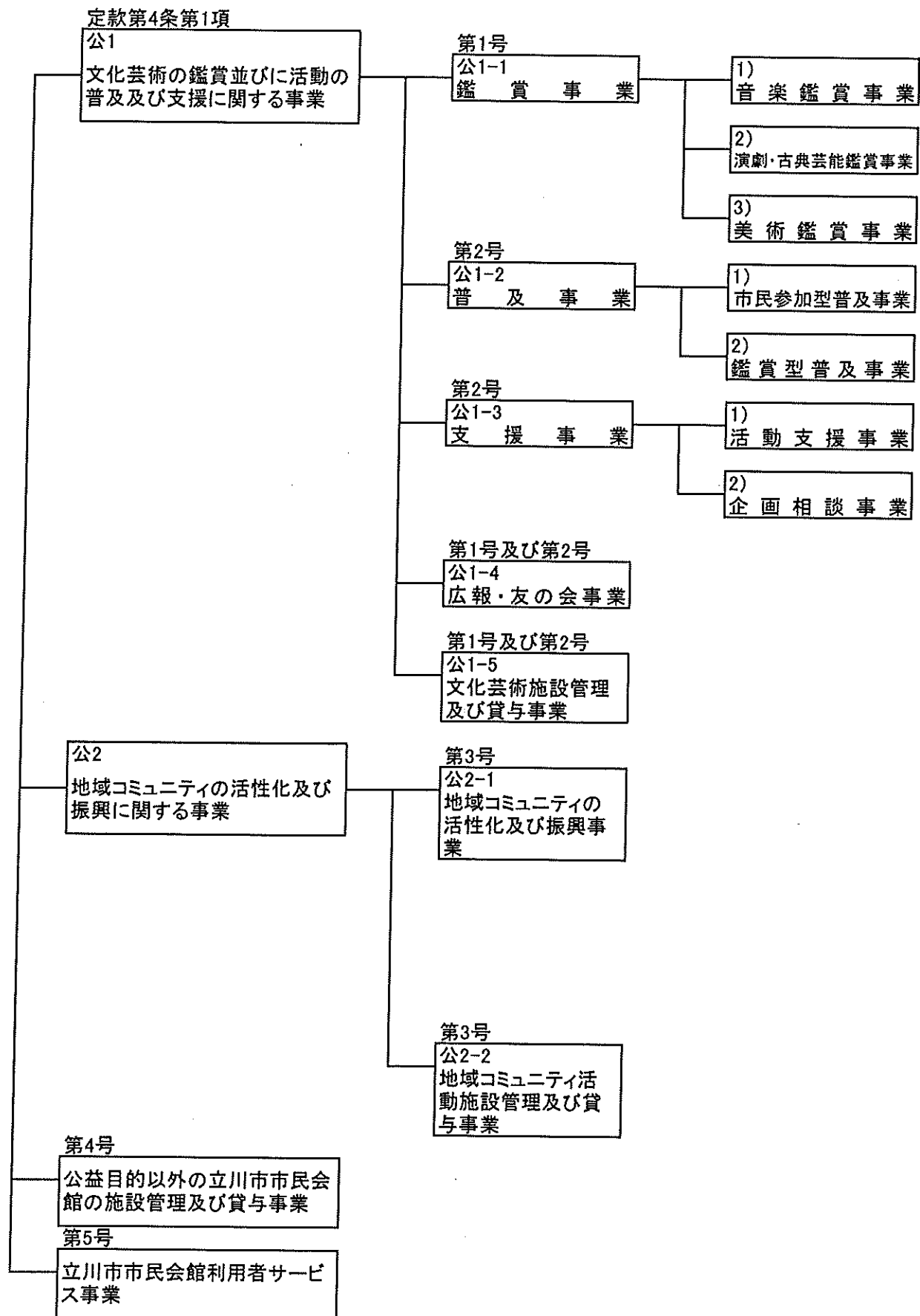
- ・大学で幼児教育や芸術専攻の学生による、世代を超えた交流と文化芸術への関心を深めるため、子どもを対象としたワークショップやミニイベントを開催する。また気軽に参加でき、周知にも役立つよう市民ロビーにキッズスペースを設ける。

③ 公益財団法人として、法令等に基づく的確な運営

- ・旧庁舎施設等の活用事業が本格化する中で、財団のあり方が市内部でも検討される。これに対処するため法令等により明確に定められた公益認定基準やガバナンス（内部統治）等に適合した法人運営を行うとともに、これからの財団を考えるための職員プロジェクトをはじめ、評議員会や理事会と連携した検討を行う。

平成23年度

定款事業別体系図



事業区分別事業計画

注) 予算額は費用を記載

(※)は新規事業

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

公1-1 鑑賞事業（定款第4条第1項 第1号）【公益目的事業】

1)音楽鑑賞事業		予 算 額		
		55,101 千円		
事業概要	市民の文化芸術振興の拠点施設である市民会館のホールを有効に活用し、様々なジャンルの舞台芸術を提供する。			
	●クラシックについては、児童・青少年への普及を促進するため、学生割引や親子割引などの制度の周知により子ども達の来場を促進するほか、未就学児も親子で楽しめる「音楽の絵本」を2回公演で実施する。また、平成7年にスタートしたアミュー水曜コンサートが11月で200回を迎えるのを記念した特別なコンサートも実施する。			
	●ポピュラーについては様々な世代に楽しんでいただける事業を実施し、クラシック同様、幼児も一緒に親子で楽しめるファミリーコンサートも実施する。			
	●共催事業についてはプロモーターなどと、これまで以上に積極的に連携を図り、多様化する市民ニーズに応える。			
平成23年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
クラシックジャンル(主催) 及川浩治ピアノ フレッシュ名曲コンサート 音楽の絵本 水曜コンサート200回記念 日フィル第九演奏会 国立音楽大コンサート ポピュラージャンル (主催) 平原綾香 海援隊&伊勢正三&山本潤子 小野リサ スウィングル・シンガーズ(宝くじ文化公演) ミッフィーの音楽会 他		通年	11回	市民会館大・小ホール

2)演劇・古典芸能鑑賞事業		予 算 額	
		25,752 千円	
事業概要	●恒例の松竹大歌舞伎では片岡仁左衛門、片岡愛之助他豪華な顔ぶれが出演し実施する。 ●狂言は人間国宝、野村万作と萬斎の親子会を実施する。 ●新春たちかわ寄席は大物真打ちを予定。 ●笑ホール寄席は実力ある中堅若手の高座を提供する。 ●歌舞伎、狂言とも事前講習会やワークショップ等を実施し、市民がより理解を深められるよう事業を展開する。 ●演劇・ミュージカルでは、特に子ども達の豊かな情操を育むため「アルプスの少女ハイジ」、ミュージカル「アトム」を実施するほか、団塊の世代以上を対象に松竹新派「女の一生」を公演する。		
平成23年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
古典芸能等 松竹大歌舞伎「義経千本桜・寿司屋」他 たちかわ狂言の会「野村万作萬斎・親子会」 新春たちかわ寄席、アミュー笑ホール寄席(3回)	通年	9回	市民会館大・小ホール
演劇ミュージカル等 劇団東少「アルプスの少女ハイジ」 松竹新派特別公演「女の一生」 わらび座ミュージカル「アトム」			

3)美術鑑賞事業		予 算 額		
		283 千円		
事業概要	音楽や舞台芸術と同じく、優れた美術作品を鑑賞することは市民の文化芸術活動を促進する重要な要素と捉え、その機会作りの事業を実施する。			
	●次代を担う子ども対象に立川市の美術資産であるファーレ立川アート作品を鑑賞する事業を、市と協力して実施するとともに、作品展なども実施する。			
	●多くの優れた芸術作品に触れる機会を市民に提供するため、美術館を訪問し専門員のレクチャーを受けるなど、さらに深く美術作品を理解できる事業を実施する。			
	●市内の文化財や名所などを訪ねて市の魅力を再発見したり、コンサートを組み入れるなど伝統文化の中に新たな立川文化の創造をするための事業を実施する。			
平成23年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
ファーレ立川アート鑑賞事業(※) (立川市立小学校の5年生を対象)		通年	20校	ファーレ立川地区
美術館鑑賞事業		未定	1回	未定
市の魅力再発見事業(※)		未定	未定	市内各地

公1-2 普及事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)市民参加型普及事業		予 算 額	
		6,463 千円	
事業概要	公演及び展示等を通して市民が参加できる普及事業として、「立川市民オペラ」・「真夏の夜の演劇祭」・「たちかわアートギャラリー展」・「吹奏楽振興事業」を実施する。 ●「立川市民オペラ」は、平成4年から通算で6回目の本公演となる「歌劇トゥーランドット」を開催する。市民組織である立川市民オペラの会と協力し、より多くの市民へ舞台芸術を普及させるようゲネプロ公開など幅広い取り組みを行っていく。 ●「真夏の夜の演劇祭」は本年度で20回目を迎えることから、実行委員会を中心に記念事業の実施を進める。 ●「たちかわアートギャラリー展」では入賞作品を会期後に市民会館だけでなく本庁舎などにも展示し、多くの市民の方々にご覧いただけるよう工夫する。 ●「吹奏楽振興事業」は、航空中央音楽隊や国立音楽大学など全国トップレベルの吹奏楽団体をかかえている地域性を活かし、吹奏楽の振興に取り組む。小中学校の学校や市民楽団などの交流の場を設ける。また、これまで取り組んできた中学生へのクリニックの拡大などを予定する。		
	23年度の予定		
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第18回たちかわアートギャラリー展 (本開催の他、入賞者展を検討中)	5月14～22日 5月下旬～6月	1回 1～2回	市民会館展示室 市庁舎、昭和記念公園
第20回たちかわ真夏の夜の演劇祭	8月	10公演 程度	市民会館大・小ホール
立川市民オペラ公演2012 歌劇「トゥーランドット」	3月10・11日	2回	市民会館大ホール
吹奏楽振興事業(情報交換会、クリニック)(※)	通年	未定	市民会館会議室、 市内中学校等

2)鑑賞型普及事業		予 算 額		
		2,999 千円		
事業概要	音楽などの芸術に触れる機会の少ない方や小さな子ども達に、地域学習館や学習等供用施設、市内福祉施設などでコンサートなどを実施することにより文化芸術を身近に感じていただける機会を増やす。			
	●「アミュー水曜コンサート」はアーティストの発表の場としても実施しており、本年度200回目を迎えることから記念事業を計画し更に周知を図る。			
	●子どもたちの心豊かな情操を育む「小学校演劇体験事業」は教育委員会とも連携し、引き続き親子で楽しめる演劇鑑賞の機会を提供する。			
	●「どこでもステージ」はこれまでのコミュニティ・ステージを拡充し、地域団体との協働型以外にも児童館や福祉施設などへの持込み型なども実施し、これまで以上に文化芸術に触れる機会を創出する。			
	●「国立音楽大学連携事業」は市と協定を締結している国立音楽大学との連携事業の実務を担い、引き続き楽器学資料館の見学や記念コンサートを実施する。			
23年度 の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
小学校演劇体験事業 人形劇「三国志」		10月15日	1回	市民会館大ホール
アミュー水曜コンサート (200回記念コンサートは公1-1に記載)		月1回水曜日	12回	市民会館市民ロビー
どこでもステージ(※)		通年	12回程度	市内学習館等
国立音楽大学連携事業		通年	未定	国立音楽大学、ほか

公1-3 支援事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)活動支援事業		予 算 額	
		1,920 千円	
事業概要	市民や若手アーティストの多様な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の育つ環境づくりを図る。		
	●「おとなバンドフェスティバル」では実行委員会に参画し、作業分担やノウハウの提供を行い公演を支援する。 ●「市民団体共催・後援」では、公演やイベントの開催を周知活動などで支援する。 ●「多摩フレッシュ音楽コンサート」では特に若手アーティストの発表や活躍の場を提供する。 ●「アーティスト支援」ではアートイベントへの協力や参加を求め、多摩フレッシュ音楽コンサートの入賞者によるコンサートなどを通じて支援する。 ●「地域力となる人材の育成・活用事業」では文化芸術のまちづくり協議会と連携し、市民の文化芸術活動を支えるボランティアなどの育成を図る。 ●「立川市児童合唱団」は募集広報などの活動を支援する。 ●「立川文化芸術のまちづくり協議会」は事務局としてその運営を支援する。		
23年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
多摩フレッシュ音楽コンサート2011	6月28・29日	2回	市民会館大ホール
おとなバンドフェスティバル2011	9月17日	1回	市民会館大ホール
市民団体共催・後援	通年	—	市民会館大・小ホールほか
立川市児童合唱団	通年	—	市立第六小学校ほか
立川文化芸術のまちづくり協議会	通年	—	市民会館会議室ほか
地域力となる人材の育成・活用(※)	未定	未定	市民会館会議室ほか
アーティスト支援(入賞者コンサート)(※)	未定	2回	市民会館小ホール
(アートマーケット)(※)	未定	1回	昭和記念公園(予定)

2)企画相談事業		予 算 額		
		3,669 千円		
事業概要	立川市と連携し、事業企画提案や事業を受託し実施する。			
	●「高齢者の集い」は市主催事業のアトラクション部門について、参加者が楽しめる企画を提案、実施する。 ●「大町市姉妹市交流事業」では、本年3月に姉妹市締結20周年を迎えることから、音楽イベント及び美術展示による交流事業や、大町市を訪問する環境プログラム体験型事業を市から受託し実施する。			
23年度 の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
大町市姉妹市交流20周年記念事業(※) 大町市作家展覧会 吹奏楽フェスティバル(予定)		6月28日～7月3日 7月3日	6日間 1回	市民会館展示室 市民会館大ホール
高齢者の集い		9月18日	2回	市民会館大ホール
大町市姉妹市交流事業		秋頃予定	1回	長野県大町市

公1-4 広報・友の会事業（定款第4条第1項第1・2号）【公益目的事業】

広報・友の会事業		予 算 額		
		21,590 千円		
事業概要	広報や友の会制度により財団事業の周知を充実させ、来場者の増加を図る。			
	●「情報紙ムーサ」は、より多くの情報発信や見やすい仕組みを検討する。 ●「ホームページ」は昨年より全ての主催事業のインターネットチケット販売を開始。今後はよりわかりやすい情報提供を行うために動画による情報配信を積極的に行うなど充実を図る。 ●「ムーサ友の会」についてはニーズ調査を行い新たな特典を設けるなど、より満足度の高い制度への検討を進める。 ●「市内広報掲示板」については、市民への周知方法の一つであり、引き続き適正な管理運営を行う。			
23年度 の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
情報紙「ムーサ」		隔月(奇数月)	6回	市内全戸、周辺17市町
財団ホームページ		通年	—	—
ムーサ友の会		通年	—	—
市内広報掲示板		通年	—	—

公1-5 文化芸術施設使用事業（定款第4条第1項第4号）【公益目的事業】

文化芸術施設管理及び貸与事業		予 算 額	
		133,039 千円	
事業概要	文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する活動のために使用する立川市市民会館の施設の貸出し及び管理業務。市民文化祭での利用、市民団体の文化活動の発表の場としての利用、アミューセット(練習として利用)での利用など。会館の機能が十分に果たせるよう、適切な維持管理を行うとともに、効率的な運営に努める。また利用者に対して安全性と快適さを提供できるよう、施設及び設備の適切な維持管理に努めるとともに、施設の特性を活かした管理を行う。		
23年度 の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
施設及び設備の貸出 施設及び設備の維持管理 安全管理と緊急時の対応 耐震・劣化の改修に向けての準備 利用者アンケート及びニーズの把握 貸出の利用促進	通年		大ホール(定員1,452名) 小ホール(定員280名) 展示室兼練習室(定員100名) サブホール(定員75名) 第1会議室(定員90名) 第2会議室(定員30名) 第3会議室(定員15名) 第4会議室(定員30名) 第5会議室(定員20名) 第6会議室(定員12名) 第7会議室(定員24名) 第8会議室(定員24名)

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

公2-1 (定款第4条第1項 第3号)【公益目的事業】

地域コミュニティの活性化及び振興事業		予 算 額		
		1,127 千円		
事業概要	イベントや表彰などを通して、人と人を結ぶコミュニティ事業に積極的に取り組む。			
	●「楽市(春・秋)」では、商工会議所などと連携して協働事務局として、財団の経験やノウハウを活かし、コンサートなど文化的要素を取り入れたものとする。			
	●「立川よいと祭り」では、光と音のシンフォニーをテーマにサンサンロードで開催するイベントでの協働事務局を担う。このお祭りではお囃子や万灯みこしなど伝統文化の継承とともに、写真を使ったデジタルアートである「フォトモザイクアート」を取り入れ(事業名:たちかわふおとも)、文化性のあるイベントとなるよう工夫する。			
	●「子ども風あげ大会」では立川市子ども会連合会と連携し、日本の伝統文化である風あげを通して親子及び地域での交流促進を図る。			
	●「コミュニティ奨励賞」では、文化芸術での顕著な成績や地域貢献活動に対し、その個人や団体を表彰し市民の関心を深めるとともに、地域活動の活性化を図る。			
●「子どもワークショップ事業」は世代を超えた交流と文化芸術への関心を深めるため子どもを対象としたワークショップやミニイベントを開催する。また気軽に参加でき周知にも役立つよう市民ロビーにキッズスペースを設ける。				
平成23年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
楽市(春)		4月24日	1日	国営昭和記念公園
(秋)		11月	2日	国営昭和記念公園
たちかわふおとも		6月～8月頃	—	—
立川よいと祭り		8月6日	1回	サンサンロード
子ども風あげ大会		1月7日	1回	多摩川緑地市民運動場
コミュニティ奨励賞		3月	1回	市民会館小ホール
子どもワークショップ事業(※)		通年	未定	市民会館市民ロビー

公2-2 (定款第4条第1項 第3号)【公益目的事業】

地域コミュニティ活動施設管理及び貸与事業		予 算 額	
		3,531 千円	
事業概要	地域コミュニティの活性化及び振興に関する活動のために使用する、立川市市民会館の施設の貸出し及び管理業務。自治会連合会の会合、よいと祭り実行委員会、楽市実行委員会など。会館の機能が十分に果たせるよう、適切な維持管理を行うとともに、効率的な運営に努める。また利用者に対して安全性と快適さを提供できるよう、施設及び設備の適切な維持管理に努めるとともに、施設の特性を活かした管理を行う。		
平成23年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
施設及び設備の貸出 施設及び設備の維持管理 安全管理と緊急時の対応 耐震・劣化の改修に向けての準備 利用者アンケート及びニーズの把握 貸出の利用促進	通年		大ホール(定員1,452名) 小ホール(定員280名) 展示室兼練習室(定員100名) サブホール(定員75名) 第1会議室(定員90名) 第2会議室(定員30名) 第3会議室(定員15名) 第4会議室(定員30名) 第5会議室(定員20名) 第6会議室(定員12名) 第7会議室(定員24名) 第8会議室(定員24名)

3 立川市から受託する施設の管理に関する事業
(定款第4条第4号)【その他事業】

公益目的以外の立川市市民会館の施設管理及び貸与事業		予 算 額	
		67,985 千円	
事業概要	公益目的以外の立川市市民会館の施設の貸出し及び管理業務。企業の説明会・研究発表・株主総会・面接・組合大会、学校の入学式・卒業式、行政の講演会など。会館の機能が十分に果たせるよう、適切な維持管理を行うとともに、効率的な運営に努める。また利用者に対して安全性と快適さを提供できるよう、施設及び設備の適切な維持管理に努めるとともに、施設の特性を活かした管理を行う。		
23年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
施設及び設備の貸出 施設及び設備の維持管理 安全管理と緊急時の対応 耐震・劣化の改修に向けての準備 利用者アンケート及びニーズの把握 貸出の利用促進	通年		大ホール(定員1,452名) 小ホール(定員280名) 展示室兼練習室(定員100名) サブホール(定員75名) 第1会議室(定員90名) 第2会議室(定員30名) 第3会議室(定員15名) 第4会議室(定員30名) 第5会議室(定員20名) 第6会議室(定員12名) 第7会議室(定員24名) 第8会議室(定員24名)

4 施設を利用する市民等へのサービスに関する事業
(定款第4条第5号)【収益事業】

立川市市民会館利用者サービス事業		予 算 額	
		730 千円	
事業概要	立川市市民会館を利用する市民の利便性を図るため、飲料等の自動販売機の設置、コピー・FAXの複合機の設置、公衆電話を設置する。 また、出演者等が公演開催時に、ホールエントランス等でCD等の公演関連商品を販売した際、物品販売手数料を徴収する。 その徴収した手数料や収益分を、公益目的事業に充てる。		
23年度の予定			
内 容		実施時期	実 施 場 所
自動販売機 コピー・FAX 公衆電話 CD等物品販売		通年	1階ロビー・控室、5階 1階受付 1階ロビー 大・小ホールロビー